

二〇一一年三月一日東日本大震災が起
 きました。特に東北地方の福島県、
 岩手県の三県では地震に加え、津波の影
 響で多くの死者、行方不明者が出まし
 た。福島県では福島第一原発事故が起
 きました。僕はこの記事を読んで人と
 人のあたたかさを感じました。富山
 県南砺市と、東日本大震災で被災し
 た福島県の南相馬市は江戸時代の大
 量移民の結

富山県立氷見高等学校

び付きもあつて昨年からチャリ
 ーデー福島24時間マラソンと題
 して行われている。このマラソン
 は南砺市と南相馬市の人々が参加
 している。僕はこう思った。復興
 支援の記事を読む度にいつも、人
 の思いやりはどれも大事で、必ず
 持っているといけないものなんだ
 と感じます。僕はこう思った。復
 興支援のイベントで、忘れられな
 いイベントがありま。それは中学
 の時の先生から教えるもらっ
 たエピソードです。それは、その
 先生の教え

子が学校を休んでまで、阪神淡路大震災のボ
ランテイアに行っていたという話です。その
先生はその話をした時にこう言っておられます
した。
「その生徒に話を聞いたら、震災のニース
を見て、自分も何かしないといけないと思い
ボランテイアに行ったら話していました。」
僕は東日本大震災が起きた時、何かできない
といけないとは思いました。何もできずにいま
いのめ分かります、何もできずにいました。だ

富山県立氷見高等学校

から、この先生の話を聞いた時、自分の気持ち
ちを実行するのはとても大変なのにすごいな
と思いました。だからこの記事を読んでいて
僕は、人の心のあたちかきをも感じたい
です。
このころソフに初めて参加する南相馬市の
大は、南相馬市の人への感謝の思いを込めて走
りたい。と言っています。人のために何かを
する。とはその人を助けるだけでなく、その
人との新しいつながりを作ることで、その

年 組 番 氏名

ではないでしょう。僕は、人々のつながり
は、新しい何かを生むと思っています。これ
からは積極的に自分の思ったことを実行す
ばいいのではないでしょう。僕はつながり
をどんどん大きくしていき、世界中で一つの
つながりとなり、世界が平和になることを願
っています。みなさんも人々のつながりにつ
いて一度考えてみてはどうでしょうか。



復興の願いを込めて走る参加者ら

福野で慈善24時間マラソン

啓人組長）と福野地域陸上競技協会（古井章会長）が隔年で実施。今回は、前回に引き続き、江戸時代の大量移民を通じた結び付きがある南相馬市の復興支援を掲げた。南相馬市からは社会福祉法人や商工会、市役所メンバーらそれぞれ20〜30人ずつの7チーム、南相馬市からは地元体育協会の推薦を受けた10人で構成する1チームが参加。23日正午にスタートした。24時間にわたり、各チームのメンバーがたすきをつなぎながら1周300分のクラウンドを走る。飛び入り参加も受け付けている。南相馬から初めて参加した広田敬二さん（50）は「南相馬の人への感謝の思いを込めて走りたい」と話していた。

〔南砺〕 東日本大震災と福島第1原発事故で被災した福島県南相馬市の復興支援を目的とした「チャリティ福野24時間マラソン」が北日本新聞社協賛で23日、南砺市

南相馬復興願い力走

マラソン愛好者でつくる福野狂走組（晩田

院林（福野）の旅川グランドで始まり、南砺、南相馬両市の計8チームが復興の願いを心に刻みながら走った。24日正午まで。